

日本薬学会九州支部主催特別講演会

小児の鼻副鼻腔疾患の治療 — アレルギー性鼻炎を含めて —

工藤典代教授

千葉県立保健医療大学健康科学部栄養学科
(前千葉県こども病院耳鼻咽喉科)

日時：2012年9月13日(木) 19:00～20:00

場所：熊本大学薬学部宮本記念館コンベンションホール

この度、急性鼻副鼻腔炎等の診療ガイドラインの委員を務められている工藤典代先生が来熊される機会に日本薬学会九州支部主催の特別講演会を企画しました。薬剤師の皆様をはじめ、薬剤師を目指す学生・院生、本話題に関心のある皆様のご来聴をお待ちしております。

＜要旨＞小児の鼻副鼻腔疾患のうち、鼻副鼻腔炎とアレルギー性鼻炎は日常診療で非常に頻度の高い疾患である。鼻副鼻腔炎には急性と慢性があるが、急性鼻副鼻腔炎については2010年に診療ガイドラインが公表され、アレルギー性鼻炎については2009年に改訂版が公表され、ともに重症度に応じた治療が呈示されている。小児の鼻副鼻腔炎は感染の先行があるため、病原体の薬剤感受性に応じた抗菌薬の選択が重要となる。また、アレルギー性鼻炎の治療には、抗原除去と回避、薬物療法(内服薬や鼻噴霧用ステロイド薬など)、抗原特異的免疫療法、手術療法がある。これらのなかで、特に日常診療における薬物治療について述べたい。

連絡先： 熊本大学薬学部機能分子構造解析学分野 山縣ゆり子(096-371-4638)